

島根県立 津和野高等学校

学校案内 2017



津高は、カラフル。



虹のように、人それぞれが自分の色を持っている。
個性豊かな色が集まって、出会いと感動で輝く場所—。
それが津和野高校です。



津高のオトナがカラフル P3-P4

津高が盛り上がっている。何か面白いことをやっている。それを支えているオトナたちが語る!!



授業がカラフル P5-P6

津高の授業はユニークだ。先生たちも面白い。ここには学びが溢れている!!



学校生活がカラフル P7-P8

津高生の生活は個性的。それぞれ違っている。三年間どう過ごすか、イメージできる!!



留学がカラフル P9-P10

今年も留学生が来た。2人の生徒が留学へ行く。なぜ海外に行こうとしているのかが分かる!!



生徒同士の関係がカラフル P11-P12

寮生活ができる。いろいろと楽しいことが多い。津高ならいろいろな人と出会える!!



進路がカラフル P13-P14

進学、就職の両方が選択できる。将来の可能性が広がる。津高は、君の夢をサポートする!!



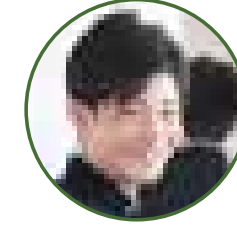
学校行事がカラフル P15-P16

50キロ歩く行事がある。体育祭と文化祭が連続してある。津高の学校行事は、学校を一つにする!!



部活動がカラフル P17-P18

切磋琢磨できる仲間がいる。珍しい部活動も選べる。放課後に、君は何にでもチャレンジできる!!





津高を創りあげているオトナたちは、みんな熱い。目指す教育、育てたい生徒像、津高の良さ……語り出したら止まらない。その想いに触れてみよう。

熱い想い、津和野へ集う。



宮本善行 校長

津和野高校は、生徒のやりたいことができる学校です。知識を得るだけでなく、様々なアクションを応援する自由な雰囲気があります。自分から「何かをやろうとする生徒」が増えてきて、遠慮せずにやりたいことを発信できるようになってきました。この学校で学ぶことを通して、グローバルに雄飛する人、地域で貢献する人、スポーツ選手や職人のようにその道を究める人など「なりたい自分」への無限の可能性を探って下さい。



宮島忠史 教頭

教員だけでなく、町役場職員、魅力化コーディネーター、町営英語塾 HAN-KOH の講師、インターンの学生などこれほどいろいろな立場の人と過ごせる高校は、他に例がないと思います。歴史的に、津和野の街には、「外へ出て行こう」「何かを始めよう」という意気込みや気概が満ちていました。そうでなければ、700年にも渡って街が続くということはありません。今の津高には、そうした意気込みや気概を再燃させようとする使命感にあふれ、それを実現するきっかけを与えるに十分な「人の厚み」があります。



松原真倫

高校魅力化コーディネーター

魅力化コーディネーターとして取り組んでいるのは、生徒たちがキャラクターや強みを自ら発見し、それを発揮できる場の提供です。津高で3年間を過ごせば、「自分で動く学び」を身体の中に染みこませる機会がどんどん増えていきます。部活動、学校行事、地域活動、町営英語塾……など「この子ならこの場面で輝ける」という場所を多く作りたい。それが私の役割です。



千葉慶太郎

町営英語塾 HAN-KOH 塾長

HAN-KOH では、集団での授業だけでなく「放課後の居場所づくり」ということをテーマとして活動を行ってきました。学校とは一味違う雰囲気の中で、「また明日学校に行つて頑張ろう」と思える雰囲気づくりを心がけています。高校には、授業での勉強だけでなく、寮生活や部活動、地域活動など自分自身が磨かれる場所はたくさんありますが、HAN-KOH もその一つになれるように日々生徒へ向き合っています。



Original Curriculum



学びが溢れる場所。

津高で行われる授業は、他とはちょっと違う。サポートする個性豊かな先生たち。どんな授業を、どんな先生がやっているのか覗いてみよう。



5



安堵正徳 教諭

国語を担当しています。その中で、生徒に身につけて欲しいのは、「自分の思っていることを外に出す」力や「考えて分かれば実行し、分からなければ人に聞く」力です。人に対して発信することができ、生徒自身が大事だと思ったことを外にきちんと出す力がつければ、自分も社会も変えていく原動力になると思っています。また、きちんと分からないことを聞く力がつければ、生徒の成長は加速していきます。そのために授業では、生徒が話したり私が教えたことをその時間の内にまとめて説明したりする時間を多くとるようにしています。



渡辺未奈 HAN-KOH 講師

英語の授業を担当しています。高校1年生や2年生には「使える英語」を目指して、楽しく話すことやゲームを授業に取り入れることで、英語への意欲を向上させています。高校3年生になれば、センター試験の筆記やリスニングに合わせた本格的な受験対策の授業も行っています。HAN-KOHでの英語以外の授業に目を向けると、調べ学習に取り組む時間や時事ニュースを学ぶ講座、まちづくりについて考えるゼミなどがあります。このように、生徒に合わせて、工夫を凝らしているのが一番の特徴で、少しでも「学ぶこと」へ親しみを持てるように毎日の授業を行っています。



6



ここにしかない三年間。

津高生は、十人十色。津和野町の出身者もいれば、全国各地からもやってくる。一人ひとりの色が出ている、面白そうな学校生活を感じてみよう。



7



羽野龍太郎 2年

津和野町立日原中学校出身

津高に入学したのは、地元でやってきた神楽を続けられると思ったからです。神楽を続けていると、校長先生を含め、先生方が全面的に応援してくれたり、地域芸能の維持に協力してくれたりします。自分のやりたいことをいろんな立場の人に相談すれば、選択肢が広がり、人との繋がりが広がります。文化祭で僕が神楽を舞うことを通して、地域の人により津高のことを身近に感じてくれると思うと、本当に嬉しいです。楽しい学校生活が待っていると思います。



山本日和 2年

津和野町立日原中学校出身

津和野町は、自然が豊かで、地域の人がすごく優しいです。道で出会う時に、挨拶してくれたり声をかけてくれたりします。本当に素敵な街です。家からは約1時間かかりますね。時には通学列車に猪がぶつかったりして止まることがあります(笑)。津和野駅から高校まで行き帰りを歩くと、気持ちがリフレッシュします。そうやって通っている高校では、普段話すことのできない大人の人たちと話すことができます。それが一番の魅力で、自分の価値観が広がっています。



熊澤聖香 3年

守口市立第一中学校出身(大阪府)

大阪の親元を初めて離れて寮に入りました。私自身周りの人全員を知らず、津和野のこともしらない中での生活でしたが、一つ屋根の下で寮生みんなと暮らして、楽しむところは楽しみ、けじめをつけるところはけじめもつけられるようになりました。慣れ親しんだところを離れ、大阪では知ることのできないことに触れて、本当に良かったです。津和野で高校生活を送ることは、貴重だし絶対に自分の糧になります。絶対楽しいです!と伝えたいですね。



鈴木元太 1年

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校出身

神奈川からやってきたのは、津和野という街で活動したいと思ったし、やりたいことへのサポートが充実しているからです。入学して思ったのは、生徒が少ないから友人同士の繋がりが強く、馴染みやすいという良さがある、ということ。友だちと一緒に楽しいことをしたり、津和野の街に出て観光や農業、飲食店さんに話を聞いたりしたいです。自転車で一周できるこの街は、すぐに行きたいところまで行けるので、知り尽くしたいと思っています。



8



世界からやってくる留学生、世界へ飛び立つ津高生。グローバルな視野が少しずつ拓かれている。「海を越える」と決めたのはなぜか、何に期待を抱いているのか、聞いてみよう。

海を越えて、
行き交う。



永安悠莉 3年 吉賀町立柿木中学校出身

高校魅力化コーディネーターの松原さんが留学経験のある大学生を津和野へ呼んだ時に、「特別な人でなくても留学できるんだ」という身近さを感じたのが、留学するきっかけでした。私にもできるんだったら、やってみたいと思ったんです。AFS（1年間の高校留学派遣をする団体）のパンフレットにある国別紹介を読んだ時に、一番自分の中で印象に残っていたのがノルウェーだったので、そこに行くことを決めました。行動を起こした人にしか、成功も失敗も経験することはできないので、今しかできないことを始めました。周りの先生方や魅力化コーディネーターが「やろうよ」と言ってくれるこの環境で本当に良かったと思います。



長嶺 萌 2年 津和野町立津和野中学校出身

人生で初めて自分で何かしようと決めたのが、留学でした。漠然と留学に行きたいと思う中で、HAN-KOH 講師の渡辺さんなどに助けられて、試験を受けて、今年の夏からフィンランドに行くことが決まりました。行く前からフィンランドは本当に好きな国になっているし、興味も湧いています。現地での友だち作りは大変そうだけど、留学先でとてもいい経験ができると思って、今からワクワクしています。

Nelia Tensi / ネリア・テンシ

昨年度高校1年生として留学（ドイツ出身）

津高に留学してみて、一番いいな、と思ったのはみんなと一緒に頑張ろうとする一体感があるということです。ドイツでは、学校に遅くまで残ることはないですが、津高では毎日遅くまで学校のために、自分が関わっていることのために残るのはすごいと思います。印象に残っているのは、体育祭です。すごかった。3つの軍それぞれがダンスを考えて、一緒にダンスを踊れるまでやったのには、本当に感動しました。一人で頑張るよりもグループで頑張ると、やる気ももっと出るし、いろいろな人と話すことで前に進むことも多かったです。津高に入れたら、1年間しか過ごさなかった私から見ても絶対に後悔しないと思います。



Relationship



先輩、同級生、後輩、先生、地域のオトナたち……。たくさんの人たちに出会い、刺激をもらうことができる。どんな出会いがあるのか、先輩たちの声に耳を傾けてみよう。



多彩な人に、
出会う。



Selina Wolf ／ゼリーナ・ヴォルフ
今年度高校1年生として留学（ドイツ出身）

私が日本への留学を決めたのは、実際にコミュニケーションする経験をすることで、日本語を学びたかったからです。津和野の写真を見た瞬間に、私はこの街と恋に落ちました。津和野の雰囲気は、とてもよいし、古い建物はドイツの地元に似ています。留学生活が始まって、まだ日が浅いですが、先生たちやクラスメイトはとても優しいです。クラスに溶け込めるようにしてくれたり、話しかけてくれたりして、どんどん仲良くなっています。



大持 歩（写真 左）3年 益田市立横田中学校出身
田中大稀（写真中央）3年 益田市立東陽中学校出身

寮に入ったことで、両親にこれまでやってもらっていたことを自分でやらなければいけなくなりました。自立しましたね。寮生同士はみんな仲が良く、他愛のない話をしていると、疲れがとれてリフレッシュできます。後輩が先輩からの指示がなくても動いてくれるので、本当にいい寮生活が送れている気がします。

伊藤真大（写真 右）2年 吉賀町立吉賀中学校出身

寮生活を始めた時は、分からないことが多かったです。先輩たちが優しく教えてくれ、話しやすかったこともあって、少しずつ慣れてきました。相談に乗ってくれることがよくわかります。何かをやる時にどうすればいいか、次に何をすればいいか、という判断力が寮でついた気がします。寮は厳しいんじゃないのか、というイメージがあると思いますが、約束や決まりごとを守るからこそ、充実した生活が送れます。





高木奏子さん

立命館大学 文学部
日本史研究学域 一回生

— 津高で得たカラフルな経験は何ですか？ —

一人ひとりが輝ける学校行事があることですね。いろんなことにチャレンジする中で、新しい自分を発見できる良さがあります。私は、津高祭の時期にちょうど受験準備が重なり、クラス合唱のピアノ伴奏や有志企画の練習、体育祭の準備と、本当に大変でした。その時、本当はクラス練習を一緒になってサポートしなくてはいけなかったのに、逆に「かなちゃん、頑張っ！」と応援してくれる雰囲気があった、本当に助かりました。

— 津高で得られたことのうち、進路先で役立っていることを教えて下さい —

女子寮の寮長として過ごした一年間で、誰かの面倒を見たり、気にかけてやるのは、本当に初めての経験でした。そういうことにチャレンジしようと思えたのも、津高に入ってから経験があったからです。ここまで成長できたのも津高を選んだからだと思います。立命



館大学一回生だけのお祭りで、クラスの出し物として唐揚げとフライドポテトを売った時には、重要な役回りを立候補して引き受けました！ キャラでもないのに（笑）。
日本史が好きになったのも高校の先生方のおかげだし、文章力が鍛えられたのもHAN・KOHのおかげでした。自分の個性に気づかせてもらえたのは、今から見ても良かったですね。

大庭沙季さん

企業警備保障株式会社石見支社
萩・石見空港 空港保安検査員

— 津高で得たカラフルな経験は何ですか？ —

萩から津和野まで50キロを一日で歩く鍛錬行事です。一日目は、萩について勉強して、二日目は、みんなで歩く。一つの行事で二つの経験ができる、津高にしかない行事を楽しめるのはとても



も良かったな、と思います。とても疲れますが、歩ききった後に、それを成し遂げた人にしか味わえない喜びがありますね。「ああ、できたんだな」と思

えるのは感動です。自分でも頑張ればやり遂げられると思えたのは、とても大事な経験でした。

— 津高で得られたことのうち、進路先で役立っていることを教えて下さい —

人間関係についてしっかりと学べたことが役立っていると思います。先輩や後輩と仲がいい中にも、縦の関係があるというのがとても学びになります。そういう学びは、どこに行っても必要じゃないかな。

私は、吹奏楽部に所属していたのですが、楽器の吹き方を教わるのは、同じ楽器を長く吹いているパートの先輩です。私が一年生の時の先輩は、とても優しく吹き方を教えてくれました。私も「先輩が入ったらこう教えるんだ」と思ったり、先輩に「先輩にはこう教えるんだよ」と言われたことを三年生になってから実行できたことが本当に嬉しかったです。人間関係をどう作るか学んで卒業すると、いいと思いますよ。

君の夢が、きつと叶う。



この場所で3年間を過ごした先輩たちは、今どんな色を出しているのか、どんな夢や目標に向かっていているのか。それぞれ違う進路を選んだ先輩の体験を読んでみよう。





学校が一つになる時。

一人ひとりが違う色を持つから、学校行事も盛り上がる。津高には、人生を通した思い出を作れる、ユニークな行事がたくさんある。一体となった津高生を見てみよう。



鍛錬行事 〈萩から津和野を歩く〉

津高の大きなイベントの一つ〈萩から津和野を歩く〉鍛錬行事では「学び」と「歩き」が二日に分けて行われます。萩からの約47.5kmの道のりは正直きついです。生徒が保護者や先生方の支え、そして一緒に歩く仲間たちとの絆を感じられる津高生イチオシの行事となっています。



津高祭

津和野高校最大のイベントである津高祭は、文化祭（右）と体育祭（左）を連日開催する学校行事です。



球技大会

球技大会は、毎年、1～3年生クラス対抗で全9クラスがバレーボールとバスケットボールのチームに分かれてトーナメント戦を戦う学校行事です。

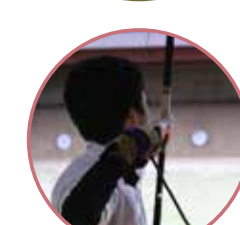
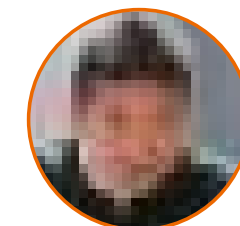
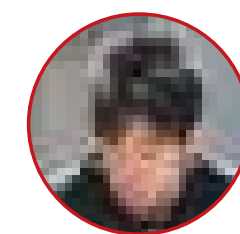
文化部合同公演 JAM

合唱部、吹奏楽部、美術部が合同で開催。卒業生や町内の合唱団など様々な人たちも参加し、交流の場に。



年間行事

- | | | | |
|-----|---------------|-------------|------------|
| 4月 | ●始業式 | ●入学式 | ●宿泊研修（1年生） |
| 5月 | ●生徒総会 | ●中間考査 | ●総体壮行式 |
| 6月 | ●県総合体育大会 | ●期末考査 | |
| 7月 | ●球技大会 | ●JAM | ●終業式 |
| | | ●オープンスクール | |
| 8月 | ●夏期補習（3年生） | ●始業式 | |
| 9月 | ●津高祭 | | |
| 10月 | ●中間考査 | ●鍛錬行事 | ●オープンスクール |
| 11月 | ●期末考査 | | |
| 12月 | ●終業式 | | |
| 1月 | ●始業式 | ●学年末考査（3年生） | |
| 2月 | ●学年末考査（1・2年生） | | |
| 3月 | ●卒業式 | ●終業式 | |





放課後だから、できること。

授業が終わった放課後。高校生活を彩る、一生付き合える人たちとの、熱中できる部活動が始まる。どんな部活動があるのだろうか。生き生きとした様子を感じ取ろう。



ソフトテニス部



バレーボール部



陸上競技部



野球部



弓道部



卓球部



合唱部



吹奏楽部



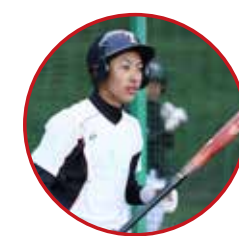
美術部



グローバルラボ



その他にも、空手や剣道、柔道等の活動もあるよ！





文教の里で学ぶ。



島根県立 **津和野高等学校**

〒699-5605 島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3

☎0856-72-0106 fax 0856-72-0329

www.tsuwano.ed.jp

